

中国地区信用金庫協会との合同勉強会を開催しました



- ・ コロナ禍における取引先企業再生支援をテーマに「令和3年度中国財務局と中国地区信用金庫協会との合同勉強会」を開催しました。

当勉強会は、参加者間のコミュニケーションの充実やそれぞれの立場から地域活性化に貢献することを目的に、平成29年度から中国地区信用金庫協会と共同で開催しています。また、本年度は中国経済産業局職員にも参加いただきました。

- ・ 日時：令和3年11月5日（金） 13時30分～17時45分
- ・ 場所：信金中央金庫中国支店及びオンライン開催



北門信用金庫 伊藤室長による基調講演

令和3年度の勉強会概要

基調講演に続き、信用金庫、中国経済産業局、中国財務局等の職員が8班に分かれグループ討議を実施。

各金庫の取組状況や課題、今後の対応について、現場での経験に基づき、今後必要となる企業支援対応について議論しました。

- テーマ：「コロナ禍における取引先企業再生支援」
- 基調講演：今後の取引先企業再生支援
講師：北門信用金庫 企業支援室 伊藤貢作室長
- グループワークテーマ：
 - ① 今後の事業再生支援 ② 業種別再生支援の課題
 - ③ 劣後ローン等資金調達の取組み
- 参加者：中国地区信用金庫（40名）、信金中金（2名）、日本銀行広島支店（1名）、中国経済産業局（3名）、中国財務局（20名） 計66名（うちオンライン参加34名）

取組みの成果

グループワークでは、「企業の実態をよく把握し、経営者に気付きを与えることが必要」、「事業者だけでは把握できない情報の提供や、改善に向けたアドバイスを行いながら、今後の経営ビジョンを経営者と共有することが重要」といった意見があり、そのためには何が必要かを参加者間で議論。

多様な現場の意見を聴くことで、新たな気付きを得ることができたほか、参加者間のつながりが生まれたことで今後の連携が期待されます。当局としても今後の様々な取組みにつなげてまいります。



班別でのグループワーク



グループワーク結果の発表